安全データシート

作成日：2015/03/01
改訂日：2015/09/15

1.製品及び会社情報

製品名：	日本薬局方 オキシドール「タカスギ」
会社名：	高杉製薬株式会社
住所：	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号：	092-621-1231
FAX番号：	092-621-6269

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分1
生殖毒性：区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分2（中枢神経系）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分2（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分2（肺）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分2（血液）
水生環境有害性（急性）：区分3

GHSラベル要素：

注意喚起語：危険

危険有害性情報：
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
中枢神経系、呼吸器の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による肺の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による血液の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き：
[安全対策]
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
[救急処置]
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
[保管]
直射日光を避け、容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
[廃棄]
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理委託すること。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外又は分類できない。

3.組成，成分情報

単一製品・混合物の区別：	混合物（水溶液）
化学名：	過酸化水素
成分及び含有量：	過酸化水素 3wt%（水溶液）

化学式又は構造式：	H_2O_2
分子量(式量)：	34.01
官報公示整理番号：	1-419
(化審法・安衛法)	
CAS No：	7722-84-1

4.応急措置

吸入した場合：	直ちに患者を新鮮な空気の場所に移し、必要があれば人工呼吸を行う。 異常のある場合は、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	直ちに汚染された衣服などを脱ぎ、大量の水で15分以上洗い流す。 異常のある場合は、医師の診断を受ける。
眼に入った場合：	直ちに流水で15分間以上洗眼する。 異常のある場合は、眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	直ちに多量の水で希釈する。医師の診断を受ける。

5.火災時の措置

消火剤：	該当物質を巻き込んだ周辺の火災に適切な消火剤を使用すること。 一般的には、木，紙，布，プラスチック類であれば水でもよいが、多量の有機溶剤や油類の場合は水は使えず、泡，粉末あるいは二酸化炭素などの消火剤を使用する。
消火方法：	火災周辺にある容器は、すみやかに安全な場所に移動させる。 移動ができない場合は、容器および周囲に散水し、冷却する。
消火を行う者の保護：	消火作業の際には自給式呼吸器、保護手袋、保護眼鏡、保護帽(ヘルメット)、耐熱性の保護衣を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。 作業の際には、必ず保護具を着用する。 風下の人を退避させる。風下で作業しない。
環境に対する注意事項：	排液が、下水，河川，海域等に流出しないように注意する。 周辺の木，紙，布などの可燃物と接触させない。接触した場合は、大量の水で洗い流す。
除去方法：	少量の場合は大量の水で希釈し洗い流す。 大量の場合は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、多量の水で十分希釈し洗い流す。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い：	
技術的対策	取扱いには、保護メガネ，ゴム手袋等の保護具を着用する。 ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
局所排気装置・全体換気	必要に応じて、局所廃棄又は全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。 可燃物や酸化されやすい物質との混触を避けること。 周辺での高温物の使用を禁止すること。 眼、皮膚に付けないこと。 ミスト、蒸気、ガスを吸入しないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 衣類にかかった場合、服を脱ぐ前に汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗うこと。 使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保 管：	
安全な保管条件	可燃物及び混触危険物質から離して保管すること。 高温になるものの近くに保管しないこと。 施錠して保管すること。
技術的対策	保管場所には、採光、照明及び換気の設備を設けること。
混触禁止物質	データなし
容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度：	
日本産業衛生学会(2008年度版)	設定されていない。

ACGIH(2005年度版)	TLV-TWA 1ppm, 1.4 mg/m^3
OSHA	PEL TWA 1ppm
MSHA	TWA 1ppm, 1.4 mg/m^3
設備対策：	許容濃度を守るため、局所排気装置を設置する。
保護具：	
呼吸器の保護具	保護マスク
眼の保護具	ゴーグル型メガネ
手の保護具	ゴム手袋等
皮膚及び身体の保護具	ゴム前掛け等

9.物理的及び化学的性質

形状：	液体
色：	無色透明
臭い：	においはないか又は弱い特有のにおい
pH：	3.0～5.0
沸 点：	108 ℃
蒸気圧：	0.36mmHg(30℃), 18hPa(20℃)
融 点：	-32.8 ℃
比 重：	約1
溶解性：	水と自由に混合する。 エタノール、エーテルに可溶。石油、ベンジンに不溶。
引火点：	データなし
発火点：	データなし
爆発限界：	上限 データなし， 下限 40 vol%
n-オクタノール／水分配係数 logPo/w：	-1.36
自然発火温度：	不燃性
分解温度：	データなし
粘 度：	1.11cp(20℃)
比 熱：	0.84 cal/g･℃

10.安定性及び反応性

安定性･反応性：	分解により酸素を放出して酸化性を示す。 光，熱などによって、徐々に水と酸素に分解する。
危険有害反応性：	可燃性物質又は還元性物質と混触すると、反応することがある。
避けるべき条件：	熱、日光
混触危険物質：	データなし
危険有害な分解生成物：	加熱により、支燃性ガス（酸素）が発生する。

11.有害性情報

以下は、＞60% 過酸化水素水の場合である。

急性毒性：	経口 ヒト 女性 LDLo: 2626 μg/kg 昏睡 チアノーゼ 吐気,嘔吐 (RTECS) 経口 ウサギ LD_{50}: 820mg/kg 腹膜炎 白血球数の変化 (RTECS) 経口 ラットの4データ（EU-RAR (2003)）から計算で得られたLD_{50}=311mg/kg 経皮 ラット LD_{50}=4060mg/kg（EU-RAR (2003)） 吸入：蒸気 本物質の飽和蒸気圧濃度は1980ppmであり，蒸気で行われたと考えられる試験（EU-RAR (2003)）で得られた，ラットLC_{50}=1438ppm
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	ウサギに対して3分間，1時間又は4時間の適用で，皮膚の全層におよぶ壊死，あるいは腐食性との結論が記載されている（EU-RAR (2003)，ECETOC Special Report 10 (1996)）こと，及びEUでC; R35に分類されていることから，本物質は皮膚に対して腐食性を示すと考えられる。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：	本物質は皮膚腐食性物質である。動物でsevereな刺激性を有し，corrosiveであるとの記載（ECETOC JACC (1993)，EU-RAR (2003)）がある。
発がん性：	
IARC：	グループ3（ヒトに対する発がん性については分類できない）
ACGIH：	A3（動物発がん性物質、ヒトへの関連性は不明）
生殖毒性：	in vitroの実験でヒト精子への影響が見られたとの記載（ECETOC JACC (1993)）があり，動物試験において親動物の一般毒性に関する記述はないが，精子運動能への影響，雌の発情周期への影響，出産母獣数の減少，及び出生児の体重減少が見られたとの記載（ECETOC JACC (1993)）がある。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) :	動物(EU-RAR (2003))及びヒト(ACGIH (2001))において鼻, 喉, 気管への刺激性が記載されている。動物ではいずれも区分1のガイダンス値の範囲内の用量で肺及び気管のうっ血, 肺水腫, 肺気腫, 気管上皮の壊死の記載(EU-RAR (2003), ECETOC Special Report 10 (1996)) がある。 ヒトで頭痛, めまい, 振戦, けいれん, 昏もう, 失神, 及び脳梗塞の記載(ACGIH (2001), EU-RAR (2003))がある。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) :	イヌにおける蒸気の吸入試験(EU-RAR (2003))で, 区分1のガイダンス値範囲内の用量で肺に線維組織巣が散見され, 無気肺領域と気腫領域の混在を認め, ヒトにおいても肺に刺激性を有するとの記載(ECETOC JACC (1993))がある。 ラット経口投与で区分2のガイダンス値範囲の用量で, 白血球数, ヘマトクリット値に影響が見られ, 溶血を認めた(EU-RAR (2003))。

12.環境影響情報

生態毒性	
魚毒性 :	甲殻類(ミジンコ)の48時間EC_{50}=2.4mg/L(EU-RAR、2003)
残留性／分解性 :	分解性はよい
生体蓄積性 :	データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物:	大量の水で希釈し、排水する。
汚染容器及び包装:	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14.輸送上の注意

国連番号及び国連分類 :	国連の分類の定義上危険有害物に該当しない。
注意事項 :	腐食性物質に関する一般的な注意をする。 運送に際して、容器の漏れのないことを確かめ、落下, 転倒, 衝突を避ける。

15.適用法令

労働安全衛生法 :	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条1、施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (SDS関連)

16.その他の情報

引用文献

1. 15911の化学商品 化学工業日報社(2011)
2. 化学防災指針 7 日本化学会編, 丸善(1988)
3. 取り扱い注意試薬ラボガイド 東京化成工業編(1989)
4. 第五版食品添加物公定書解説書 廣川書店(1987)
5. 第2版危険物データブック 東京消防庁 警防研究所, 丸善(1993)
6. 化学品安全管理データブック 化学工業日報社(1996)
7. Chemical Database Search Service(日本ケミカルデータサービス(株))
8. 製品評価技術基盤機構 http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html
   中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHSモデルMSDS情報
   http://www.jaish.gr.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
9. GHS混合物分類判定システム(Ver1.2)経済産業省
10. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース(株)

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点においての知見によるものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。